

青森県感染症発生情報
(2023年第13週)

I 第13週の発生動向 (2023/3/27~2023/4/2)

1. インフルエンザについては、むつ保健所管内で**警報**、東地方+青森市保健所管内では**注意報**が継続しています。一方、上十三保健所管内の**警報**及び弘前保健所管内の**注意報**は**解除**となりました。また、県全体の定点当たりの報告数が過去5年間の同時期と比較して、やや多い状況です。

II 第13週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

小児科 内科	東青 (東地方+ 青森市保健所)	東青		中南 (弘前保健所)	中南		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)	三八		西北 (五所川原 保健所)	西北		上北 (上十三保健所)	上北		下北 (むつ保健所)	下北		青森県計	前週 からの 増減
		数	人/定点		数	人/定点		数	人/定点		数	人/定点		数	人/定点		数	人/定点		
インフルエンザ	160	12.31	125	8.93	42	2.80	19	2.71	56	6.22	116	19.33	518	8.09	-327					
小児科	RSウイルス感染症			1	0.11	1	0.10						2	0.05	0					
	咽頭結膜熱					4	0.40						4	0.10	0					
	A群溶血性链球菌咽頭炎			2	0.22	1	0.10						3	0.07	-3					
	感染性胃腸炎	18	2.25	23	2.56	39	3.90	14	2.80	24	4.00	4	1.00	122	2.90	-26				
	水痘	1	0.13					1	0.20	1	0.17			3	0.07	3				
	手足口病															0				
	伝染性紅斑															0				
	突発性発しん	1	0.13			4	0.40	3	0.60	2	0.33			10	0.24	-1				
	ヘルパンギーナ															-1				
流行性耳下腺炎									2	0.33			2	0.05	1					
眼科	急性出血性結膜炎															0				
	流行性角結膜炎															0				
基幹	感染性胃腸炎(ロウイルス)															0				
	クラミジア肺炎															0				
	細菌性髄膜炎															0				
	マイコプラズマ肺炎											2	2.00	2	0.33	-6				
	無菌性髄膜炎							1	1.00					1	0.17	0				

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓



サル痘 (四類感染症)

サル痘は、オルソポックスウイルス属のサル痘ウイルスの感染による急性発疹性疾患です。ヒトに感染すると、通常6~13日(最大5~21日)の潜伏期間を経て、水ぶくれを伴う発疹に加え、多くの場合、発熱、寒気、だるさ、リンパ節のはれ、頭痛、筋肉痛などの症状があらわれます。

2022年5月以降、サル痘流行国への海外渡航歴のないサル痘患者が世界各地で報告されていますが、2023年3月時点では、世界全体の患者報告数は減少傾向にあります。一方、国内では、2022年7月に1例目の患者が確認され、その後年末までに数例の報告がありました。2023年以降、第12週までに70例となっており増加しています。青森県では第13週の時点で報告はありません。

サル痘を疑う症状があらわれた場合には、医療機関に「サル痘の可能性がある」旨ご相談ください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [サル痘について \(厚生労働省\)](#)

○参考 WHO 発表 (2022年11月28日)

サル痘の名称変更 「サル痘」→「M痘」
(今後一年間は、名称を同時使用)

サル痘とは?

2022年5月以降、これまで主にアフリカ大陸で発生が報告されていた「サル痘」の患者について、欧米を中心に感染事例が報告されており、国内でも感染者が確認されました。

サル痘はどのような病気ですか?

- サル痘はウイルスによって感染する病気です
- 一般的には発熱や発疹(ほっしん)、リンパ節のはれ等の症状がみられますが、多くの場合、2-4週間で自然になおります

サル痘はどのように感染するのですか?

- 感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液との接触(性的接触を含む)が中心です(患者と長時間、近距離で対面することでの飛まつ感染もあります)。新型コロナウイルス感染症と異なり、人から人への感染は容易には起こりません
- WHOによると、現在報告されている患者の多くは男性であり、そのほとんどが男性同士の性的接触がある男性ですが、女性や小児の感染も報告されています
- ※特定の集団や感染者、感染の疑いのある者等に対する差別や偏見は、人権の侵害につながります

どのような症状に注意すればよいですか?

- 体の部位に関係なく、発疹や水ぶくれなどがどうかどうか注意してください(特に顔、口、手足、肛門、性器、臀部(尻)での発生に注意してください)
- その他、発熱、頭痛などの症状が見られる場合があります
- 水ぼうそうなどの他の発疹を生じる病気との区別が難しいことがあります

予防法や治療法はありますか?

- 多くの場合、2-4週間で自然になおります。
- 天然痘ワクチンが、サル痘ウイルスにさらされた後の発症の予防や重症化予防に有効とされています。我が国では、サル痘ウイルスにさらされた可能性のある方に対してワクチンを投与するための臨床研究体制を整えています。また、サル痘の患者には臨床研究で治療薬を投与できる体制も整えています

サル痘を疑う症状があった場合はどうすればよいですか?

- サル痘を疑う症状が見られた場合、最寄りの医療機関に相談してください
- 医療機関を受診する際には、マスクの着用や発疹部位をガーゼなどでおおう等の対策をした上で受診してください

[サル痘についてのリーフレット](#)より抜粋

(出典:厚生労働省 HP)

Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類感染症）：青森市 5 人 (2023 年計： 26 人)
- ・E 型肝炎（四類感染症）：青森市 1 人 (2023 年計： 2 人)
- ・クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）：弘前 1 人 (2023 年計： 1 人)
- ・梅毒（五類感染症）：八戸市 1 人 (2023 年計： 7 人)

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2023 年第 6 週～第 13 週）

- ・第 13 週の患者報告数は 518 人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは 483 人【A 型：481 人、B 型：2 人】でした。

保健所管内別報告数（人）

保健所名	6	7	8	9	10	11	12	13
東地方+青森市	82	113	133	113	254	152	240	160
弘前	111	88	85	63	43	66	162	125
三戸地方+八戸市	470	471	361	234	200	96	78	42
五所川原	34	40	109	167	102	75	67	19
上十三	386	342	264	321	204	105	92	56
むつ	5	6	18	74	155	186	206	116
合計	1088	1060	970	972	958	680	845	518

A 型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	6	7	8	9	10	11	12	13
東地方+青森市	80	113	131	113	230	145	238	159
弘前	111	88	85	63	43	66	162	124
三戸地方+八戸市	387	385	336	226	195	91	76	41
五所川原	34	40	109	166	98	75	67	19
上十三	318	289	249	307	201	103	89	56
むつ	3	4	14	57	117	122	113	82
合計	933	919	924	932	884	602	745	481

B 型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	6	7	8	9	10	11	12	13
東地方+青森市	2				1	2		1
弘前								1
三戸地方+八戸市					1	1		
五所川原								
上十三							1	
むつ								
合計	2	0	0	0	2	3	1	2

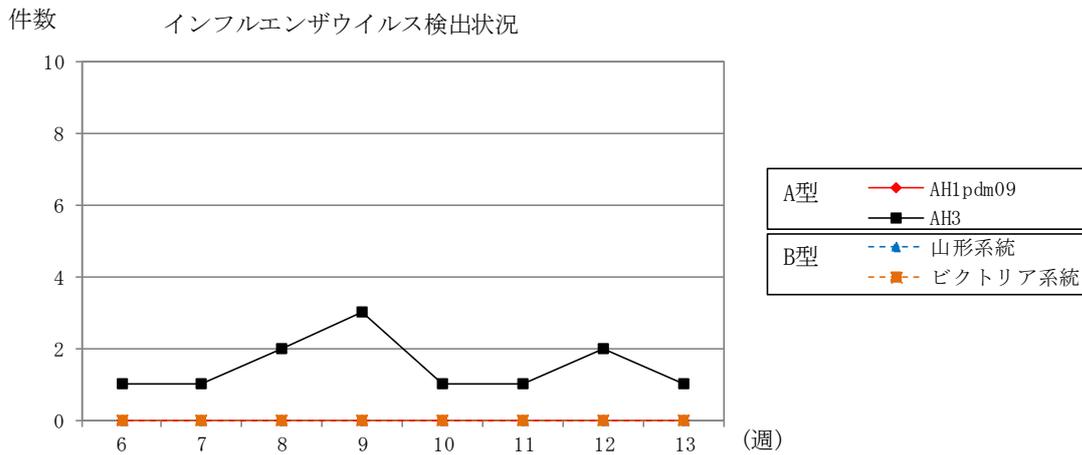
年齢区分別(人)

年齢区分	6	7	8	9	10	11	12	13
～5ヶ月	8	3	6	2	5	3	9	3
～11ヶ月	7	5	16	11	6	5	16	8
1歳	41	42	34	36	28	19	25	31
2歳	30	43	38	22	42	32	49	35
3歳	58	78	69	54	53	47	50	40
4歳	82	66	66	57	66	43	86	63
5歳	67	82	91	103	86	61	104	52
6歳	76	88	101	88	103	48	110	61
7歳	89	69	76	89	75	57	46	38
8歳	58	54	53	87	81	69	29	19
9歳	49	46	50	65	53	31	48	13
10～14歳	300	240	196	176	185	131	117	46
15～19歳	69	77	35	34	31	28	22	11
20～29歳	31	25	22	17	18	14	22	11
30～39歳	40	49	42	43	41	26	45	33
40～49歳	42	44	24	37	23	25	31	18
50～59歳	10	17	20	16	20	8	10	9
60～69歳	14	10	16	15	13	20	13	14
70～79歳	12	11	8	8	12	10	8	9
80歳以上	5	11	7	12	17	3	5	4
合計	1088	1060	970	972	958	680	845	518

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2023年								直近5週間 合計	2022/2023 シーズン 合計
		6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週		
提出検体数		1	1	2	3	1	1	2	1	8	25
A型	AH1pdm09									0	0
	AH3	1	1	2	3	1	1	2	1	8	23
B型	山形系統									0	0
	ビクトリア系統									0	0
合計		1	1	2	3	1	1	2	1	8	23

注）2022/2023シーズンは2022年第36週（9/5～9/11）～2023年第35週（8/28～9/3）



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2023年第10週～2023年第13週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
10	百日咳1人	レジオネラ症1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症2人 百日咳1人	レジオネラ症1人			
11		カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人	梅毒1人		E型肝炎1人	
12		劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人 梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人			
13	E型肝炎1人	クロイツフェルト・ヤ コブ病1人	梅毒1人			

・第12週に八戸市保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症1人の届出がありましたので、追加しました。

VIII 結核(二類感染症)（2023年第10週～2023年第13週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
10	1				1	
11	1	1	2			
12	1			1		
13	5					

・第12週に五所川原保健所管内で結核1人の届出がありましたので、追加しました。

Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2023年第1週～第12週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	2782	1	6	212	13	5	132	17	3	2

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	サル痘	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症
累積報告数	1	70	11	1	50	11	6	4	298	2

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症
累積報告数	121	54	394	11	100	1	28	198	193	12

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん
累積報告数	59	4	398	64	3152	45	12	39	125	1

分類	五類	五類
疾病名	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	1	5

青森県（2023年第1週～第13週までの累計）

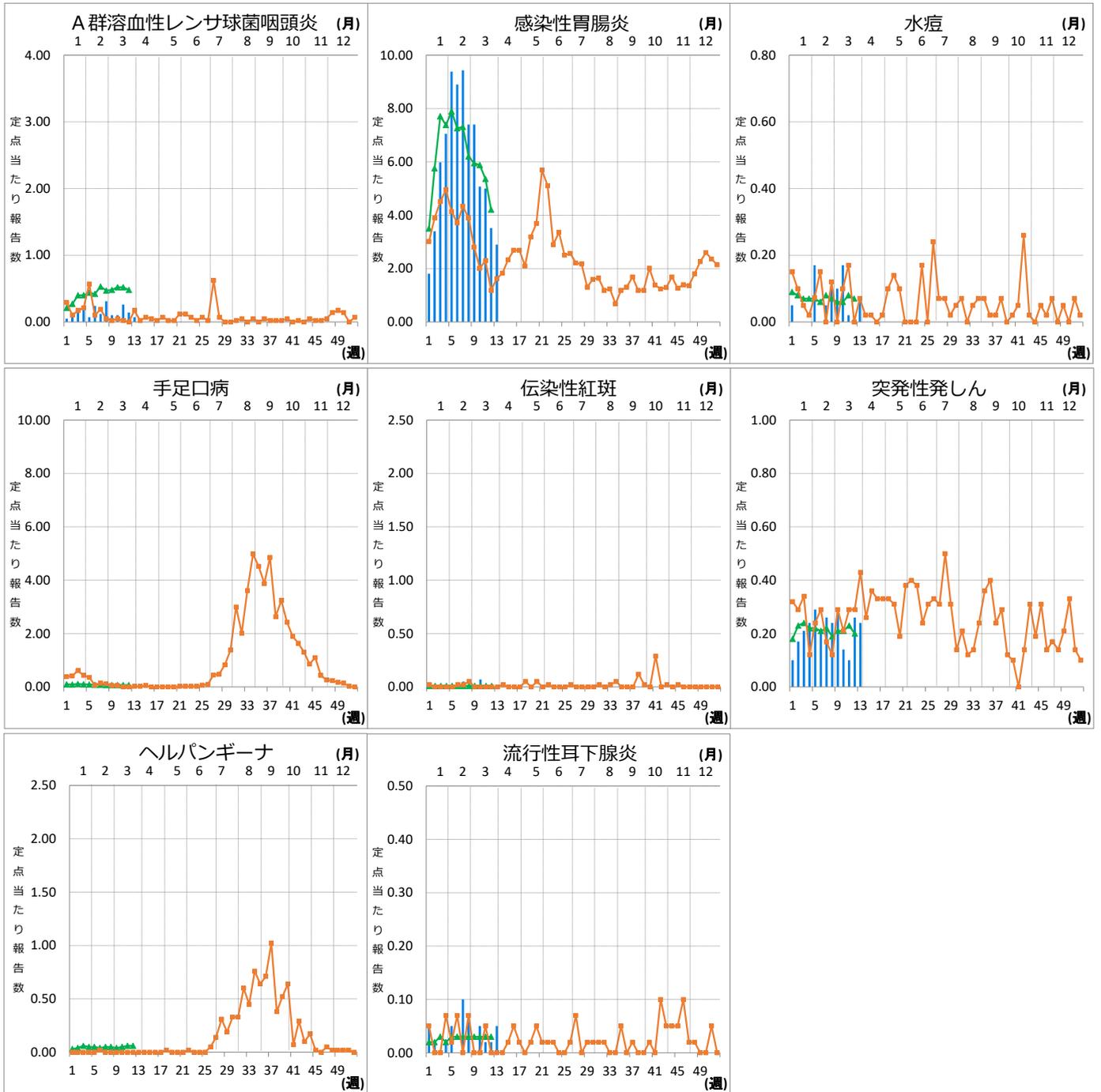
分類	二類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症
累積報告数	26	1	2	2	1	7	1	3	1	6

分類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	7	1	1	2

Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2023年第13週、ただし全国は前週）

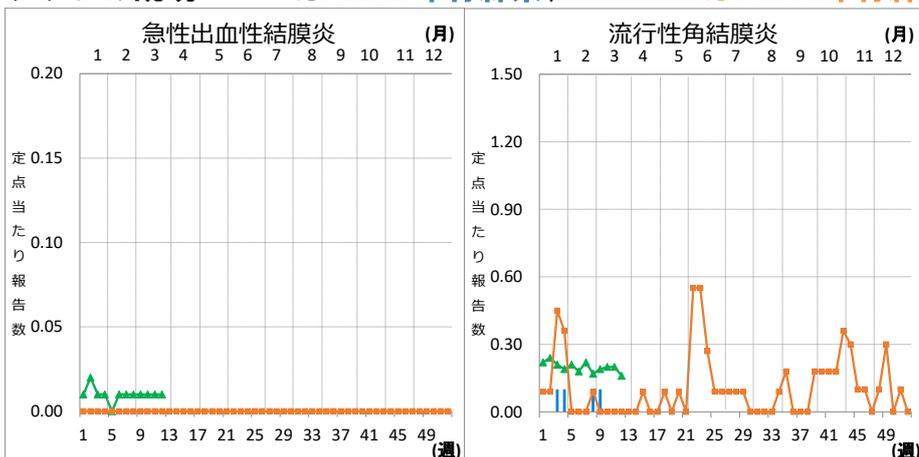
グラフの説明 —■—は2023年青森県、—■—は2022年青森県、—▲—は2023年全国





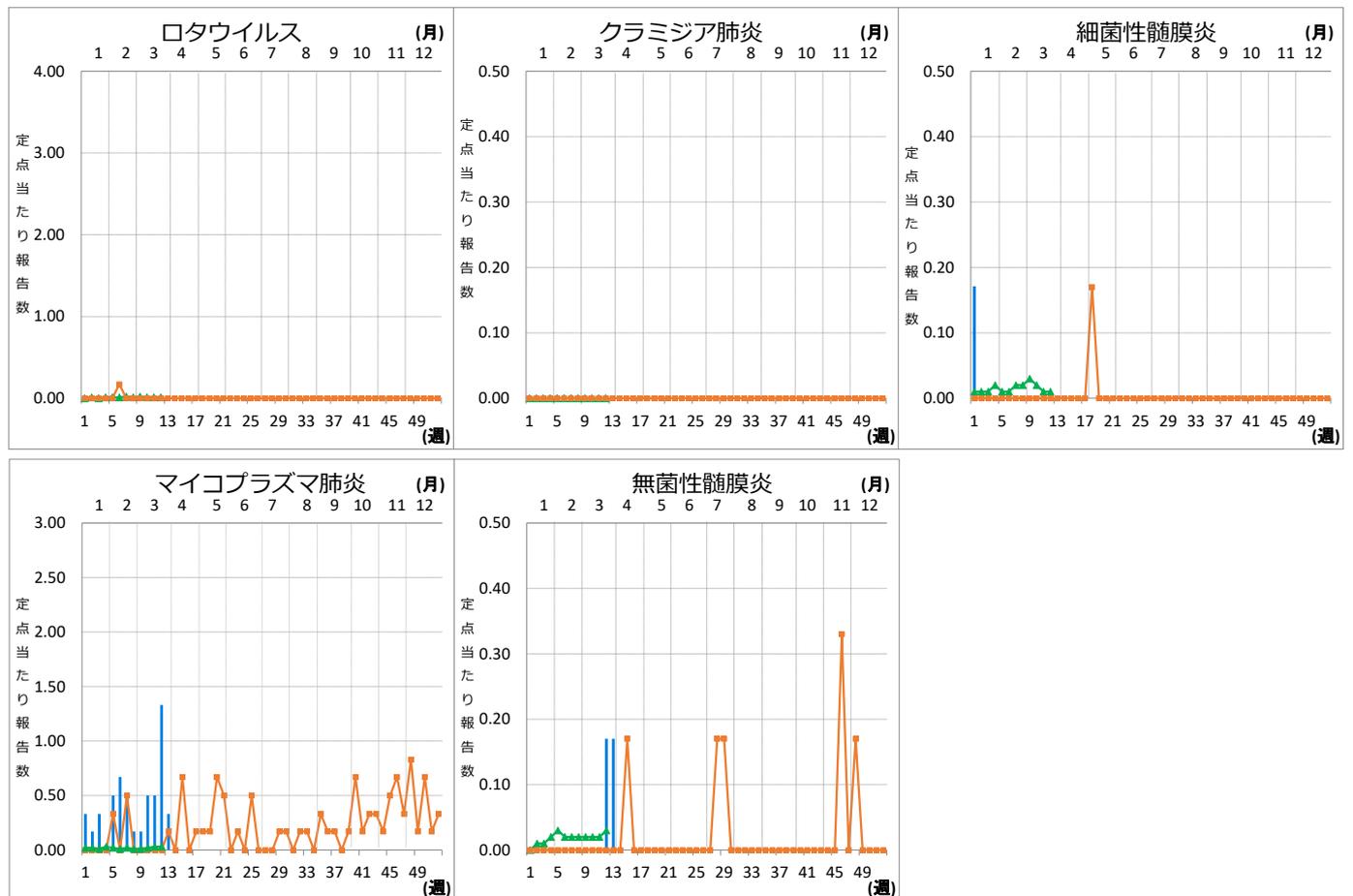
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2023年第13週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —は2023年青森県、■—■は2022年青森県、▲—▲は2023年全国



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2023年第13週、ただし全国は前週）

グラフの説明 〓は2023年青森県、■は2022年青森県、▲は2023年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2023年第13週

報告はありませんでした。

2023年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月				2月				3月				計 (施設別)	
		1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週		13週
介護・老人福祉関係施設	件数	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	6
	発症者数	9	16	0	0	0	10	0	0	37	0	10	33	0	115
児童・婦人関係施設等	件数	0	1	2	2	2	1	3	2	2	2	1	0	0	18
	発症者数	0	12	36	54	34	12	58	44	41	18	10	0	0	319
障害関係施設	件数	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3
	発症者数	0	0	0	26	0	0	0	26	0	0	0	49	0	101
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	2	2	3	2	2	3	3	3	2	2	2	0	27
	発症者数	9	28	36	80	34	22	58	70	78	18	20	82	0	535